

ACRP-Japan 2025 年度 Annual Report

一般社団法人 日本エイ・シー・アール・ピー (ACRP-Japan)



代表理事 近藤 奈津子

理事 中尾 雄高

はじめに

ACRP-Japan は、一般社団法人としての事業年度を 1 月から 12 月までとし、法令および定款に基づき毎年社員総会を開催しています。社員総会では、前年度の事業報告および決算報告、当年度の事業計画および収支予算について審議・決定しています。

このたび 2026 年 2 月に開催された社員総会において、2025 年度の事業報告および決算報告が承認されました。昨年に引き続き、ACRP-Japan の活動にご関心をお持ちの皆様、日頃よりご支援いただいている皆様に向けて、2025 年度の活動内容を年次報告書として取りまとめ、公表いたします。

本報告書が、ACRP-Japan の活動への理解を深めていただくとともに、新たな参加や連携、そして日本の臨床研究コミュニティが世界とつながるきっかけとなれば幸いです。

総括

2025 年は、ACRP-Japan にとって世界との接続が一段と深化した年となりました。

ACRP 2025 Meeting & Expo への参加を通じて、世界各国の臨床研究専門家との交流、最新知見の収集、国際的なネットワーク形成を進めました。また、現地での Site Tour を通じ、研究実施体制や実務オペレーションに関する学びも深めました。

帰国後には「My Best of ACRP 2025」を開催し、海外で得た知見を国内コミュニティへ展開しました。加えて、ACRP 資格認定取得に向けた支援を行い、日本国内の臨床研究専門職の成長支援にも取り組みました。

日本と世界をつなぐ架け橋として、着実な成果と次年度への基盤を築くことができた一年であったと考えています。

活動報告

① ACRP AMBASSADOR CLUB としての活動

ACRP-Japan は、ACRP 本部による国際公式プログラム [ACRP International Ambassador Club](#) (以下 Ambassador Club) の公認団体として、2025 年も日本における正式な窓口機能を継続しました。

本制度を通じ、ACRP 本部との継続的な連携を維持するとともに、日本の臨床研究コミュニティとグローバルネットワークを結ぶ基盤強化に取り組みました。

Ambassador Club は、米国 ACRP 本部が米国外にもネットワークを広げるために開始した国際的枠組みであり、各国 1 団体のみが正式な関連組織として承認されます。承認団体は、ACRP ブランドや教育資源へのアクセス、各種ベネフィットを受けることができます。

ACRP-Japan は、米国 ACRP 本部の日本における臨床研究専門職コミュニティを代表する窓口として、国際的ネットワークの一員として活動を継続しています。

② ACRP2025 に関する情報提供・参加促進・参加

2025 年 4 月にニューオーリンズで開催された ACRP 2025 Meeting & Expo に向け、Website、SNS、関係団体との連携を通じて情報提供および参加促進を行いました。

その結果、日本から 13 名の参加者が現地でカンファレンスに参加し、ICH E6(R3) への対応、AI 活用、Clinical Operations、Quality Management など幅広いテーマについて学ぶ機会となりました。



また、本会議が開催された時期は、米国における政策・制度環境の変化を背景に、研究資金、人材、Diversity 施策など、臨床研究を取り巻く環境にも不透明感が広がりつつあるタイミングでした。そのような状況下においても、会場では「変化の時代においても、科学と臨床研究の価値を信じ、前向きに進んでいこう」とする実務家・研究者コミュニティの強い意志が感じられました。

参加者にとっても、個別テーマの知識習得にとどまらず、不確実性の高い時代における専門職コミュニティの在り方や、国際的な連帯の重要性を実感する機会となりました。あわせて、米国本部関係者や各国参加者との交流を通じ、新たな連携の可能性も広がりました。

③ Site Tour・国際交流

Annual Conference 参加にあわせ、[Tulane Center for Clinical Research](#) への Site Tour を実施しました。

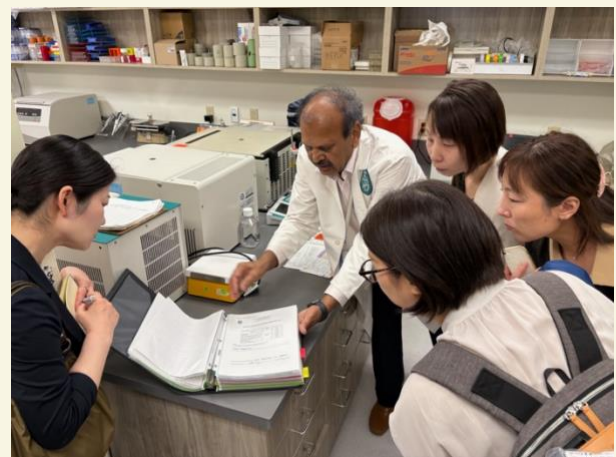


Tulane University School of Medicine を基盤とする同施設では、Academic Medical Center としての強みを活かし、診療・教育・研究が一体となった臨床研究体制が構築されていました。施設内では、被験者来院動線、研究専用スペース、検体処理体制、Research Pharmacy、データ管理を含む実務オペレーションについて説明を受け、日本の現場実務にも通じる多くの学びを得る機会となりました。

また、ニューオーリンズという地域特性を背景に、多様な患者層へのアクセスやコミュニティとの関係構築を重視した研究運営についても知見を得ました。さらに、ハリケーン・カトリーナ等の大規模災害を経験した地域ならではの事業継続性やレジリエンスの考え方にも触れることができました。

現地専門職との意見交換を通じ、臨床研究を支える仕組みには国や制度の違いがある一方で、被験者中心の視点、品質確保、現場での柔軟な問題解決といった本質的価値は共通していることを再認識しました。

ACRP-Japan では、単なる会議参加にとどまらず、現場から学ぶ国際交流機会の創出を今後も重視してまいります。



④ My Best of ACRP2025 開催

帰国後の2025年7月、[東京センタークリニック様](#)のご協賛により会場をお借りし、現地参加者による報告会「My Best of ACRP 2025」を開催しました。

本会では、ACRP 2025に参加したメンバーが、それぞれの視点から印象に残ったセッション、現地での学び、国際交流を通じて得た気づきを共有しました。ICH E6(R3)、AI活用、Risk-Based Quality Management、CRC/CRA業務、Clinical Operations など、実務に直結する幅広いテーマが取り上げられ、現地参加者ならではの臨場感とともに、海外カンファレンスの価値を国内コミュニティへ届ける機会となりました。CRP誌でも、参加者それぞれの視点から得られた知見や洞察が特集として紹介される予定です。

当日はオンライン視聴を含めて約30名の方々にご参加いただき、発表後の質疑応答や交流会においても議論は尽きることなく、予定時間では足りないほど活発な意見交換が行われました。これは、現地での経験がそれだけ豊かであったこと、そして参加者の皆様が海外カンファレンスや国際交流の実体験に強い関心を寄せていたことの表れであったと受け止めています。

ACRP-Japanは本会を単なる知識共有の場にとどまるものとは考えていません。現地で得た熱量や刺激を参加者自身の言葉で伝え、日本の

臨床研究専門職に新たな学びや挑戦への意欲を広げていく場と位置づけています。

実際に、本イベントをきっかけとしてACRP-Japanとの関わりを深め、ACRP認定資格の取得につながった方や、翌年のAnnual Conferenceへの参加を決めてくださった方もおられました。

今後も、本会を国内コミュニティへの重要な還元機会として発展させてまいります。

⑤ ACRP 資格認定取得サポート

ACRP-Japanでは、ACRP認定資格に関心を持つ方々への情報提供、受験相談、学習方法に関する助言等を継続的に行っています。2025年も複数名の方々に対して個別相談を実施し、国際資格取得を通じたキャリア形成と専門性向上を支援しました。

近年、ACRP認定資格の価値は、個人の専門性を示すものにとどまらず、所属組織における人材育成や品質向上の観点からも少しずつ認識されるようになってきています。ACRP-Japanに関わる認定取得者やメンバーが、それぞれの職場で資格取得の意義を伝え、周囲への働きかけを続けてきたことにより、各組織においても認定取得を前向きに捉える動きが徐々に広がっています。

その結果、認定取得を目指す個人が、キャリア上のメリットをより具体的に感じやすくなり、学習や受験に踏み出しやすい環境が整いつつありま

す。ACRP-Japan が把握している情報としては、2025 年に新たに 3 名の方が ACRP 認定資格を取得されています。

なお、資格認定試験に関する手続きには、直接 ACRP 本部に問い合わせなければ分からない点も多くあります。そのため、必要に応じて本部問い合わせ窓口等をご紹介しながら、受験希望者が安心して次のステップに進めるよう支援しています。

⑥ 運営基盤整備

2025 年は、継続的な活動を支える基盤整備にも取り組みました。Website および SNS 運営の継続、各種事務体制の見直し、コスト最適化等を進め、限られた資源の中でも持続可能な運営体制の構築を図りました。

また、今後の対外発信強化を見据え、LinkedIn 等の新たな情報発信基盤の整備にも着手しました。

2026 年に向けて

2026 年も、ACRP-Japan は世界との接続をさらに広げるとともに、日本国内コミュニティへの価値還元を一層強化してまいります。

ACRP 2026 への参加支援、国内イベント開催、資格認定支援、人材交流の促進を通じ、日本の臨床研究専門職がより広く世界とつながる未来を目指します。

国際的な学びと日本の現場実務をつなぐ存在として、今後も価値提供を続けてまいります。

謝辞

2025 年も、国内外の多くの皆様のご支援、ご協力のもと、ACRP-Japan は活動を継続・発展させることができました。心より御礼申し上げます。

今後とも ACRP-Japan の活動へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 東京センタークリニック 様
- ファストドクター株式会社 様
- 株式会社ファルマ 様
- 株式会社 SerEN Trials 様
- 株式会社メディカル・パブリケーションズ 様
- 一般社団法人 メドグラティアム 様
- Tulane Center for Clinical Research 様
- クラウドファンディングを通じてサポートをいただいた皆様
- コミュニティに参加して活動を盛り上げていただいた皆様

(2026 年 3 月記)

CONTACT

ACRP-Japan Website:

<https://www.acrpjapan.org>

Email: acrp@acrpjapan.org

ACRP-Japan ファンディングサポートサイト:

<https://congrant.com/project/acrpjapan/12231>